

令和5年

3月

No.71

Spring



所沢の“今”が2分でわかる！

ところざわ通信

Tokorozawa News



01 植樹イベント「親子で参加、緑町中央公園にクヌギを植えよう！」

2月25日(土) 緑町中央公園



市内の公園や緑地で被害が拡大しているナラ枯れ。緑町中央公園でも枝折れや倒木の危険がある木を多数伐採してきました。そこで、失われた緑の再生とクヌギの植樹を通じて緑の大切さを学ぶことを目的にイベントを開催。小学生と保護者が参加しました。1組1カ所、決められた場所に大きな穴を掘り、苗木を植えていく親子。一生懸命植えたクヌギが、子どもたちと一緒に成長する将来が楽しみです。
撮影：市民カメラマン・滝島利男

02 全豪オープンテニスベスト4！ 田中愛美選手報告会

2月19日(日) グランエミオ所沢



田中愛美選手（車いすテニス）は、所沢市ゆかりのアスリート。今年1月に開催された全豪オープンテニス大会にてシングルス、ダブルス共にベスト4の好成績を収め、この日はグランエミオ所沢を会場にしての報告会。席はファンの方で埋まり、立ち見も出るほど。「優勝を目指してこれからも頑張ります！」との意気込みに、会場はたくさんの応援の拍手で包まれました。
撮影：市民カメラマン・中村 仁

03 大学連携共催セミナー 防衛医科大学校「救急について学ぶ」

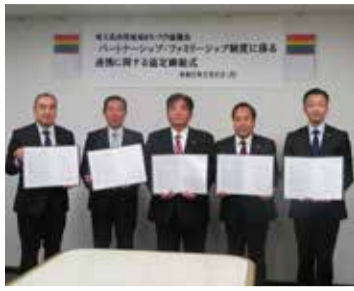
2月12日(日) 生涯学習推進センター



市教育委員会と市内及び近隣の大学による共催で、身近な場所で気軽に学生気分が味わえる「大学連携共催セミナー」。今回は、防衛医科大学校の医学科学生と教授が講師となり、救急について学びました。冒頭、講師の自己紹介に絡めた救急の話に、参加者は早速引き込まれていきました。傷病者発見時の対応や誰でもできる救命処置の実践も取り入れられ、体験しながら理解が深まる場となりました。
撮影：市民カメラマン・浅見司郎

04 性的少数者が生きやすい社会を目指して 5市が協定を締結

2月6日(月) 埼玉西部消防局(けやき台)



▲協定書を掲げる5市の市長：(左から)狭山市・小谷野市長、日高市・谷ヶ崎市長、所沢市・藤本市長、飯能市・新井市長、入間市・杉島市長

LGBTなどの性的少数者がパートナーや家族との関係性を市に届け出て証明を受けることで、社会的配慮が受けやすくなるパートナーシップ・ファミリーシップ届出制度について、埼玉県西部地域まちづくり協議会の所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の市長が連携協定を締結しました。これまでも5市で連携して性の多様性等を啓発してきましたが、4月からは、本制度の利用者が5市間を転出・転入する際の手続きが軽減されます。

05 お茶の葉香る ^{おい}美味しいお茶の淹れ方^い

2月2日(木) 富岡まちづくりセンター



全2回からなる本講座。講座1回目は、「狭山茶の歴史」を学び、2回目の今回は「美味しいお茶の淹れ方」を実践。まずは、講師から急須の選び方やお湯の温度、種類によってお茶の味が異なることを学びました。その後、お茶の葉の目利きを行い、いざ美味しいお茶の淹れ方の実践へ。講座で学んだことを活かして淹れたお茶に、参加者は身も心も温まっていました。

撮影：市民カメラマン・西山元博

06 所沢ゆかりの若手アーティスト集う!ところざわアートのミライ

1月28日(土) 所沢駅周辺3会場



グランエミオ所沢、所沢駅、所沢駅東口市民ギャラリーの3会場で、「ところざわアートのミライ」が開催されました。広々とした会場に、8組11名の作品を展示。さまざまな世代の人々が集い、それぞれの視点からアートに触れていました。また、関連イベントとしてワークショップも開催。「石を使ってモビール(動く彫刻)を作ろう」では、大切な人々や場所、風景をテーマに作品を作りました。

撮影：市民カメラマン・久保純子

最新情報はこちら

市ホームページ内「ところざわ通信」をご覧ください。



所沢市広報課フェイスブックもチェック!



令和5年(2023年)3月発行号【No.71】

発行 所沢市
〒359-8501 所沢市並木1-1-1

編集 広報課 ☎04-2998-9024
FAX 04-2994-0706

市HP <https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>

広報マスコット
ひばりちゃん

